

2023年6月期 第3四半期

決算補足説明資料

J A P A N C R A F T
H O L D I N G S

証券コード：7135

2023年5月12日

1. 2023年6月期第3四半期決算説明

※当社は、藤久の単独株式移転による2022年1月4日設立のため、2021年6月期以前の計数は、藤久単独の数値を記載しています。

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を2022年6月期の期首から適用しています。

※2022年7月1日付の株式交換により、日本ヴォーグ社及びその子会社であるヴォーグ学園を当第1四半期より連結の範囲に含めています。
ただし、ヴォーグ学園については、第1四半期は貸借対照表のみ連結、第2四半期より損益を取り込んでいます。

(損益)

	← 第1四半期 →			← 第2四半期 →			← 第3四半期 →			← 第4四半期 →		
藤久	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
日本ヴォーグ社	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
ヴォーグ学園				7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

■新中期経営計画における今年度テーマ『経営体質強化 — 黒字体質転換』へ向け、各施策取組を強化 《主な取り組み》

- 「手づくり」事業黒字体質転換：ソーイング中心の売場作り、効率的な店舗運営体制へ転換、オムニチャネル推進強化
グループ内協業強化による新たな収益源の拡大
- 「新ビジネス」領域への本格参入：エポック社との業務提携によるシルバニアファミリー関連売上は順調に拡大
『美・健康』領域は、2023/05取扱い開始
- スタダード市場への選択申請：経営資源を業績向上に集中、企業価値向上を図る
持株会社体制のもと、全社的な経費適正化、資産・負債の効率運営を強化

当社グループの強み

- 全国に展開する業界トップの店舗網とコト消費の場を提供する多様な講習会運営
- 手芸関連出版トップとして有する作り図をはじめとする膨大なソフト資産と著名講師陣体制、全国主要都市での学園運営

事業環境に対する認識

- 手芸人口の減少：趣味の多様化、少子高齢化を背景とした手芸人口減少の影響を受け、来店客数減少
- 一方、コロナ禍で落ち込んだコト消費の回復：
ヴォーグ学園受講生、トーカーワークショップ参加者は増加
- 100円ショップや他業態の参入による競合激化：
家具量販店でも手芸コーナー展開
- 同業他社の店舗展開に変化の兆し：
販売手法の転換、今後店舗網見直しの可能性

目指す方向性

- グループで有する多様な講習プログラム、著名講師陣等魅力ある商品・サービスを、店舗・学園・WEB等複数のアプローチ手段を活用し、顧客へ提供
- 同業、他業態問わず、当社グループの商品・サービスを提供、手芸を核に多様な顧客ニーズに応え、手芸ファンのさらなる開拓と手芸マーケットの活性化を実現する
- 他社アライアンスも積極的に活用、ウィンウィンの関係を構築さらには資本提携や当社グループ参加も検討

業界再編局面へ突入、
仲間作り・業界内協業の機運の
高まりも

スタンダード市場への選択を申請
手芸事業の収益性改善と新ビジネスへの参入・定着化による業績の安定化を図り、
お客さまへ多様な商品・サービス提供を目指し、さらなるグループ拡充へ

2023年6月期第3四半期決算概要

- 日本ヴォーグ社（第2四半期からヴォーグ学園）連結取込みにより、前期比+12億円強（+10%）の増収
- 多様なニーズへの対応や新たな手芸ファンの獲得に向けた様々な施策に取り組んできたものの、客数減が影響し営業損失計上。日本ヴォーグ社子会社化に伴い負ののれん発生益計上

2023年6月期第3四半期決算概要

（単位：百万円）

	2021年6月期		2022年6月期		2023年6月期*			
	第3四半期 （累計）	通期	第3四半期 （累計）	通期	第3四半期 （累計）	前期差	前期比	修正後通期予想 （修正前通期予想）
売上高	16,296	20,694	11,749	15,712	13,000	1,251	110.6%	17,000 (22,000)
売上総利益	9,637	12,187	6,668	8,623	7,335	667	110.0%	9,700 (12,050)
販売管理費	8,445	11,286	8,028	10,798	8,855	827	110.3%	11,800 (11,860)
営業利益	1,191	900	△ 1,360	△ 2,174	△ 1,520	△ 160	-	△ 2,100 (190)
経常利益	1,201	911	△ 1,345	△ 2,154	△ 1,578	△ 233	-	△ 2,100 (170)
当期純利益	987	757	△ 1,752	△ 2,692	△ 1,662	89	-	△ 2,200 (180)

2020年7月～2021年3月：
コロナ巣ごもり需要

・減損損失：△146百万円
・日本ヴォーグ社との株式交換に伴う
負ののれん発生益：128百万円

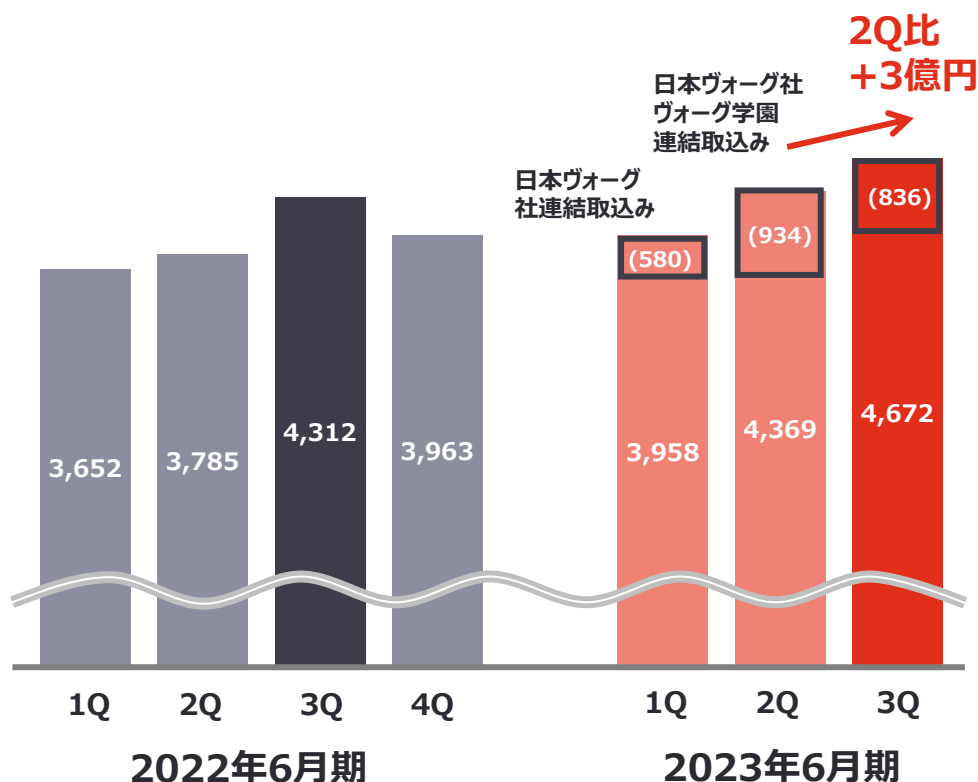
※ 2021年6月期は、藤久の数値を記載

※ 2022年6月期の数値（連結）は、2022年6月期第2四半期までの藤久の数値（非連結）を含む

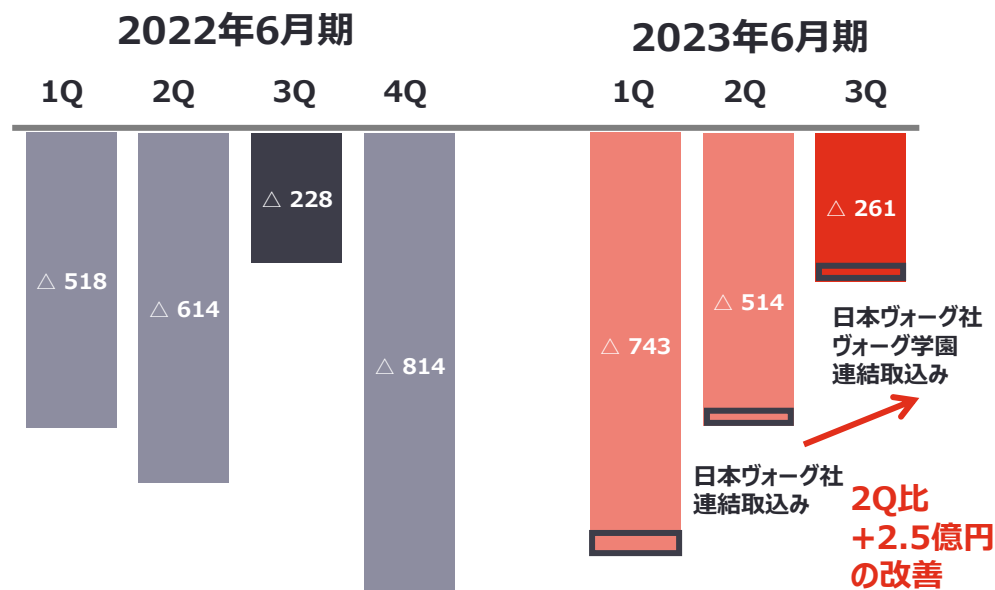
四半期別売上高・営業利益の推移

- 売上面は、2Qからの日本ヴォーグ社・ヴォーグ学園の連結取込みに加え、藤久の売上増により3Qは2Q比+3億円の増収
- 利益面は、藤久における売上増と販管費適正化・削減、日本ヴォーグ社・ヴォーグ学園の連結取込みにより、3Qは2Q比+2.5億円の改善

売上高の四半期推移 (単位：百万円)



営業利益の四半期推移 (単位：百万円)



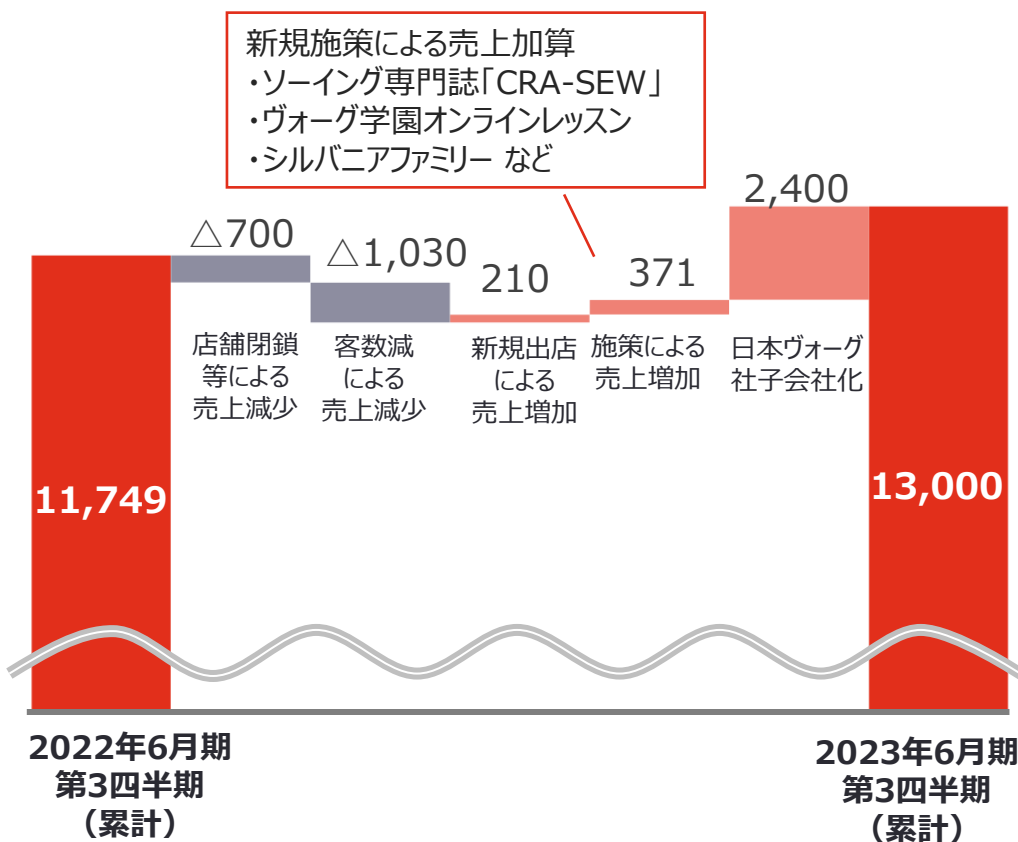
前期比では、小売事業の売上減▲5億円も、販売管理費の適正化・削減により損失拡大を抑制

※ 2022年6月期の数値は、2022年6月期第2四半期までの藤久の数値 (非連結)

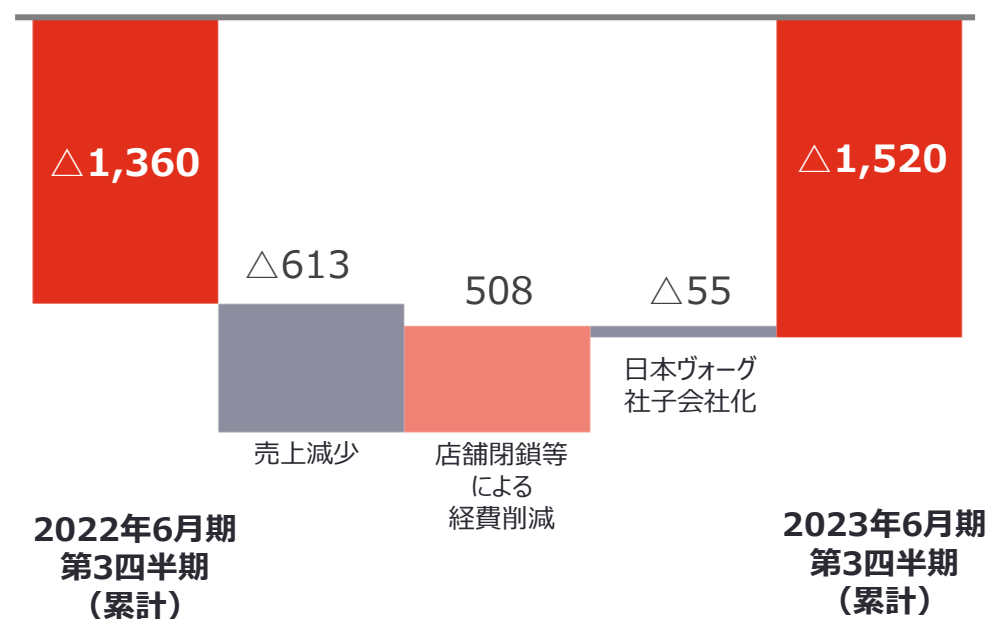
売上高・営業利益増減要因分析

- 藤久の売上が減少するも、日本ヴォーグ社連結取込みと新規施策により前期比増収
- 来店客数の減少による売上減の影響を受け減益となるも、販管費の適正化・削減は継続実施

売上高の増減要因 (単位：百万円)



営業利益の増減要因 (単位：百万円)



- 小売事業のうち店舗販売は減収、ECは微減。出版・教育事業の売上構成比は全社の約18%
- 出版事業では原材料・印刷費用の高騰、書店数減少などにより、引き続き厳しい状況が続くなか、教育事業では受講生数がコロナ禍前の水準まで回復

セグメント別売上実績

(単位：百万円)

	2021年6月期		2022年6月期	
	第3四半期	通期	第3四半期	通期
店舗販売	15,462	19,591	10,917	14,609
通信販売	809	1,071	812	1,077
その他	24	31	18	25
合計	16,296	20,694	11,749	15,712

(単位：百万円)

	2023年6月期	
	第3四半期	通期
小売事業	10,622	81.7%
うち店舗販売	9,818	75.5%
うちEC	784	6.0%
出版・教育事業	2,378	18.3%
合計	13,000	100.0%

※2021年6月期、2022年6月期は、藤久の数値を記載

日本ヴォーグ社・ヴォーグ学園のグループ化により、当期より事業セグメントを「小売事業」「出版・教育事業」に変更

連結貸借対照表

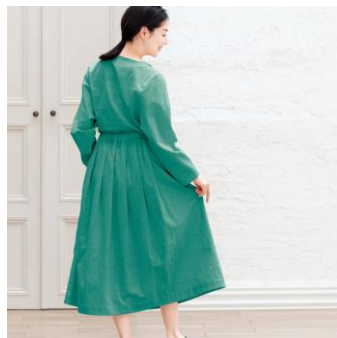
(単位：百万円)

	2022年6月期	2023年6月期 第3四半期	増減額	主な増減要因
流動資産	7,527	8,945	1,417	+日本ヴォーグ社・ヴォーグ学園取込みによる増加
現金及び預金	1,330	2,469	1,139	
棚卸資産	4,933	4,904	△ 29	
その他の資産	1,264	1,571	307	
固定資産	2,665	5,372	2,707	+日本ヴォーグ社・ヴォーグ学園取込みによる増加
有形固定資産	964	3,512	2,548	+土地 +建物
無形固定資産	474	562	88	
投資その他の資産	1,226	1,297	71	
資産合計	10,193	14,318	4,125	+日本ヴォーグ社・ヴォーグ学園取込みによる増加
負債合計	3,962	7,676	3,713	+日本ヴォーグ社・ヴォーグ学園取込みによる増加
流動負債	3,153	4,542	1,389	+短期借入金
固定負債	809	3,133	2,323	+長期借入金・社債 +退職給付に係る負債
純資産合計	6,230	6,642	412	+日本ヴォーグ社・ヴォーグ学園取込みによる増加
負債・純資産合計	10,193	14,318	4,125	+日本ヴォーグ社・ヴォーグ学園取込みによる増加

※ 2023年6月期より日本ヴォーグ社、ヴォーグ学園を連結取込み

- こだわりのある美しい生地を作る老舗メーカー「有輪商店」とコラボした、オリジナル生地「CRA-SEW collection」を販売開始
- 新ビジネス「美と健康」の第1弾として眠りをテーマとした商品・サービスの構築に取り組み、一部店舗で「手づくり枕」講習会を開始

オリジナル生地の販売



- CRA-SEW collection最大の長は「着心地」一般的に流通している生地よりも、洋服作りを意識し織り糸の種類や混紡率にもこだわった「肌触り」や「質感」の良い生地



- オリジナル生地は、トーカー店舗およびECサイトでも購入可能
- 「この生地で何か作りたい！」を叶えるため、作り方から材料まで総合サポートするソーイング誌をvol. 4まで4冊発刊

手芸と眠りの講習会開始



- お客様アンケートの結果から、眠りに悩みを持つ方が全体の約7割
- 手芸と眠りをテーマに手づくり枕の講習会を開始
枕の中身をカスタマイズし、生地で枕カバーを作成

参加費：11,000円(税込)
(材料費、受講料含む)

- ★山田朱織枕研究所の考える“正しい枕”について学びます
- ★枕の高さを自分仕様に合わせます
- ★枕カバーを作ります
(生地の色はお選びいただけます)

※手づくり枕の仕様は予告なく変更する場合がございます。

2. 2023年6月期業績予想

2023年6月期業績予想

- 各種施策に取組み来店客数の増加を見込むも、その効果発現には時間を要することから、今期の業績予想を下方修正
- 持株会社体制のもと、全社的な経費の適正化、資産・負債の効率運営を実施するも、通期決算において損失計上を見込む
- 期末配当予想については、確定次第別途公表予定

2023年6月期業績予想

(単位：百万円)

	2021年6月期		2022年6月期		2023年6月期予想			
	実績	構成比	実績	構成比	修正後通期予想	構成比	前期差	修正前予想
売上高	20,694	100.0%	15,712	100.0%	17,000	100.0%	1,288	22,000
売上総利益	12,187	58.9%	8,623	54.9%	9,700	57.1%	1,077	12,050
販管費及び 一般管理費	11,286	54.5%	10,798	68.7%	11,800	69.4%	1,002	11,860
営業利益	900	4.3%	△ 2,174	-	△ 2,100	-	74	190
経常利益	911	4.4%	△ 2,154	-	△ 2,100	-	54	170
当期純利益	757	3.7%	△ 2,692	-	△ 2,200	-	492	180

配当予想

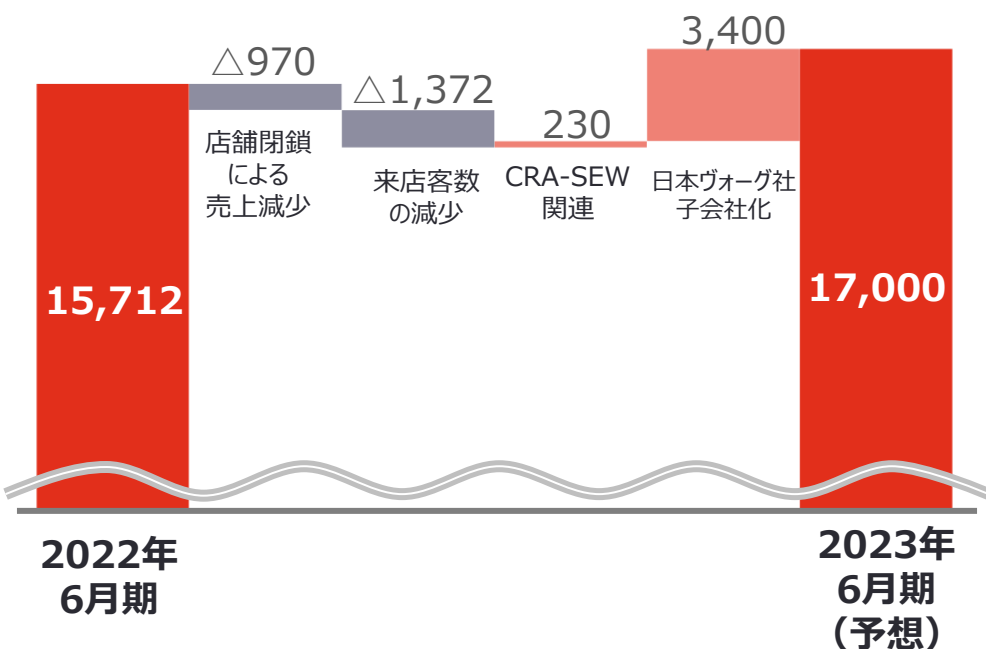
日本ヴォーグ社、ヴォーグ学園の連結取込により増収

	2021年6月期			2022年6月期			2023年6月期		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間	中間	期末	年間
一株当たり 配当金 (円)	12.50	19.50	32.00	0.00	0.00	0.00	-	未定	未定

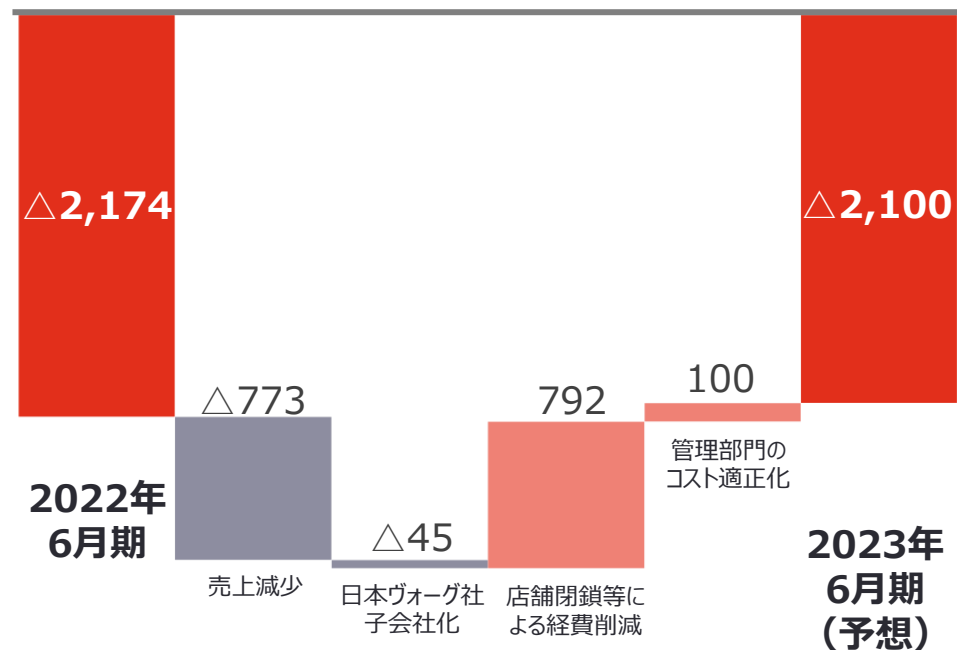
※ 2021年6月期は藤久実績

- CRA-SEW関連や日本ヴォーグ社の子会社化などによる売上加算はあるものの、来店客数の減少が大きく、売上高を下方修正
- 黒字体質転換への経営体質強化に取り組み改善はみられるものの、売上減少の影響が大きく2期連続の営業損失となる見込

売上高の増減要因 (単位：百万円)



営業利益の増減要因 (単位：百万円)



- 当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大、株主数のさらなる増加を狙い、2023年7月1日に株式分割を実施予定
- 今後もIR情報配信強化のための個人投資家向け説明会実施等、中長期的な株式価値向上に努める

株式分割の概要

株式分割の方法	2023年6月30日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の保有する普通株式 1株につき2株 の割合をもって分割
株式分割の日程	基準日 : 2023年6月30日 効力発生日 : 2023年7月1日

株主優待への影響について

- 株式分割に伴い、2023年12月31日の株主名簿に記載または記録の株主様を対象とした株主優待から、下記のとおり変更。
なお、今回の株主優待制度の変更は、上記の株式分割の割合に応じて設定するものであり、優待内容の実質的な変更はなし。
- **分割後の保有株式数が100株以上200株未満である株主様を対象とした株主優待の導入を別途検討しており、確定次第、公表予定。**

基準日	保有期間	保有株式数		優待内容
		株式分割前 (~2023年6月末基準日)	株式分割後 (2023年12月末基準日~)	
6月30日 12月31日	1年以上 継続保有	100株（1単元）以上 300株（3単元）未満	200株（2単元）以上 600株（6単元）未満	① 「株主ご優待券」 3,000円分×年2回
		300株（3単元）以上 500株（5単元）未満	600株（6単元）以上 1,000株（10単元）未満	② 「株主ご優待券」 5,000円分×年2回
6月30日		500株（5単元）以上	1,000株（10単元）以上	③ ②の優待に加え、年1回 特別優待品を贈呈

※継続保有、保有株式数の確認基準は従来通り

3. 会社概要

商号	ジャパンクラフトホールディングス株式会社 (JAPAN CRAFT HOLDINGS CO.,LTD.)
設立	2022年1月4日
資本金	1億円
代表取締役	中松 健一
本社所在地	愛知県名古屋市名東区高社一丁目210番地
事業内容	子会社等の経営管理及びこれらに附帯又は関連する一切の事業
上場取引所	東証プライム、名証プレミア (コード: 7135)

グループ会社



※ 2023年3月31日時点

グループ経営理念

「手づくり」を通して豊かな心を育み幸せを紡ぐ企業グループへ

グループ経営ビジョン

vision1.

私たちは、手芸の総合サポート企業として手づくり文化の裾野を広げます。

vision2.

私たちは、手づくりの喜びと幸せをあらゆる世代のお客様にお届けします。

vision3.

私たちは、手づくりのやさしさを次世代に繋げて持続可能な社会の実現に貢献します。

行動指針

熱意 を持って、お客様の期待に応えよう
常にお客様視点を持つ

使命感 を持って、創意工夫と新たな挑戦を続けよう
今日より明日の成長

信用 を得て、誇れる企業グループへ育てよう
ステークホルダーからの信用維持

- 1961年 3月 「藤久株式会社」設立
- 1968年 7月 手芸専門店のチェーン展開を開始
- 1994年 4月 店頭登録銘柄として株式公開
- 2003年 8月 東京証券取引所第二部及び名古屋証券取引所第二部に株式を上場
- 2013年 5月 東京証券取引所第一部及び名古屋証券取引所第一部に株式を上場
- 2015年 4月 オンラインショップ「クラフトハートーカイドットコム」を開始
- 2018年 5月 スマートフォン向けアプリ「Tokaiグループアプリ」のサービス開始
- 2020年 5月 (株)キーストーン・パートナーズとの資本業務提携
- 2021年 2月 (株)エポック社及び(株)マスターピースと業務提携
- 2021年 5月 (株)日本ヴォーグ社と業務提携
- 2021年11月 GMOペパボ(株)と業務提携
- 2022年 1月 単独株式移転により「藤久ホールディングス(株)」を設立
- 2022年 7月 株式交換により(株)日本ヴォーグ社を子会社化
- 2022年10月 「ジャパクラフトホールディングス(株)」に社名変更

~2021年

■ インフラ整備

・基幹システムの刷新

店舗と通販在庫を一元管理する新基幹システムに刷新し、全店舗のPOSをタブレット型に変更することで多様な販促が対応可能に

・人材投資

成果報酬型の人事制度へ変更し、従業員のモチベーションアップを実現
管理・営業支援人材を外部登用し、管理サポート体制を強化

■ 収益力の改善

不採算店舗閉鎖、本部人員スリム化、物流見直し等で収益力を改善
店舗網再構築や諸経費の見直しによりさらなる体質強化中

■ 業務提携

- ・(株)エポック社 2021年 2月 手芸と親和性の高い人気商品の取扱い
- ・(株)日本ヴォーグ社 2021年 5月 協業による多科目のWeb講習会の実現
- ・GMOペパボ(株) 2021年11月 両社のサービス(店舗・オンライン)への相互送客

2022年~

■ 持株会社体制への移行

M&Aやアライアンス推進を加速化するための体制確立

■ M&Aやアライアンスの推進によるグループの業容拡大

当社の会員基盤、サービス・商品、店舗網と親和性が高い企業とのアライアンスを推進し、グループ事業シナジーを創出し新規顧客の獲得、事業の充実化・拡大を図り、企業価値向上を実現

■ 店舗とECが一体化したシームレスな購入環境の実現 商品・サービスの充実化

基幹システムにより店舗とECの一体化を実現
広告・CRM支援の(株)ゴンドラと業務提携しECサイトを大幅リニューアルし、デジタルマーケティングにより顧客訴求力の高いサービス・商品を提供

事業展開

手芸専門店



314店舗



16店舗



1店舗



1店舗

公式通販サイト



手づくりタウン

生活雑貨 専門店



1店舗

出版



カルチャースクール

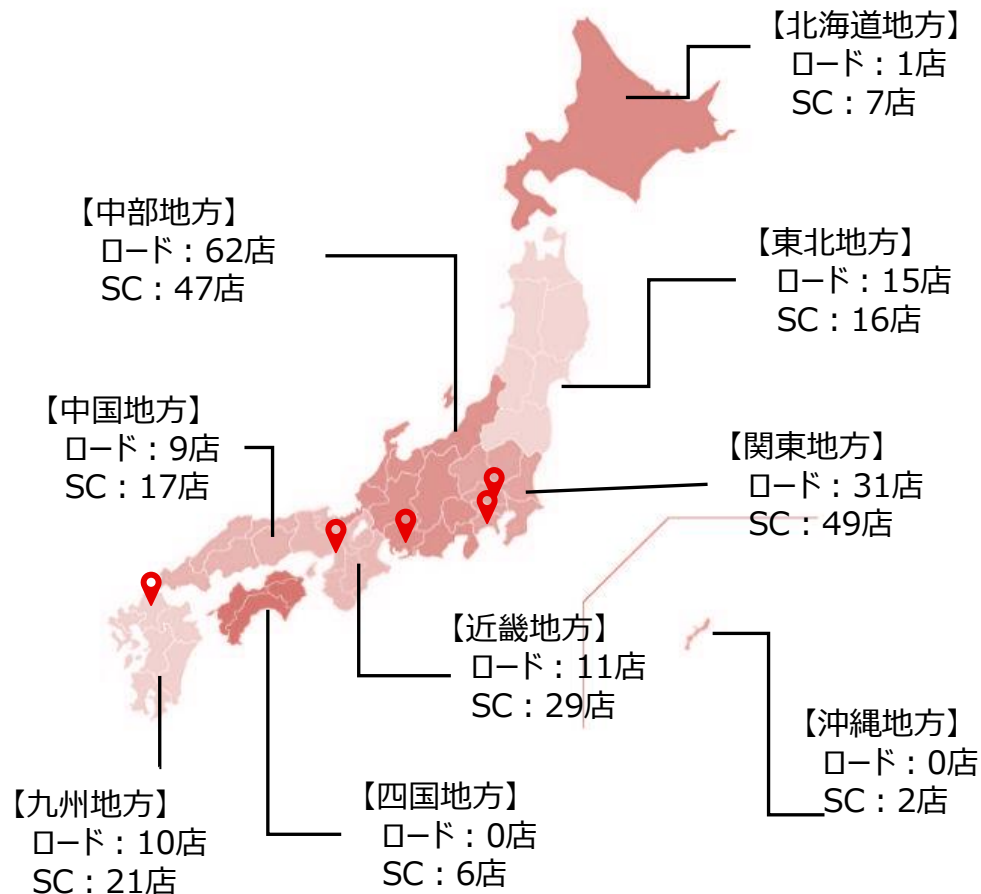


教育・通信教育



店舗状況

- ロード : □ロードサイド店舗
- SC : SC店舗 (インショップ店舗)
- 📍 : ヴォーグ学園



※ 2023年3月31日時点

本資料及び当社IRに関するお問合せ先

- 本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料に記載された業績予想及び将来予測については、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実性を含むため、将来の経営成績の結果を保証するものではありません。
- 実際の業績等については、環境の変化などにより、本資料における将来見通しと異なる場合がございます。
- 万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

お問合せ先	ジャパングラフトホールディングス株式会社 企画部
所在地	〒465-0095 愛知県名古屋市名東区高社一丁目210番地
TEL	052-725-8815
Email	ir@fujikyu-corp.co.jp
企業サイト	https://www.jcraft-hd.co.jp/